

Science × Art

サイエンス × アート

テクノロジーのかたち

2018.11.17 Sat.-
2019.01.06 Sun.

10:00 - 22:00 ※科学館の展示は18:00まで
(入館は17:00まで)

会場 日立シビックセンター科学館および1Fアトリウム
茨城県日立市幸町1-21-1

アクセス JR常磐線「日立駅」中央口下車 徒歩3分
常磐自動車道「日立中央IC」から車8分

休館日 11/26(月)、年末年始(12/28(金)-1/4(金))
※科学館、天球劇場のみ 11/27(火)も休館

料金 無料 ※科学館のみ別途入館料 大人 520円 小中学生 320円 幼児無料

主催 茨城県北芸術祭フォローアップ事業実行委員会
公益財団法人 日立市民科学文化財団

問合せ 茨城県北芸術祭フォローアップ事業実行委員会事務局
(日立市市長公室地域創生推進課内) 050-5528-5023
日立シビックセンター科学館 0294-24-7731

梅津信幸 理学博士
住谷秀保 研究者
矢内浩文 工学博士
村上史明 アーティスト
茨城県北芸術祭フォローアップ事業
監修 松本美枝子

Workshop

週末は、大人も子どもも楽しめる
サイエンス × アートの
ワークショップをオープン!

11/17 sat. ダンボールで日立の
12/23 sun. まちをつくってみよう

11/25 sun. ブックカフェ
"2001年宇宙の旅"を読む

12/1 sat.- うごく!お絵かき体験
1/6 sun.

12/1 Sat. 1本のワイヤーで
16 Sun. 作る錯覚アート

12/8 Sat. スクラッチで
9 Sun. はじめてのプログラミング

12/23 Sun. 光の実験室
24 Mon.

1/5 Sat.&6 Sun. お正月サイエンスショーまつり

2018.11.23 Fri. 16:30-

"Hitachi Starlight Illumination 2018" 点灯式も開催されます(点灯期間 11/23 Fri. -12/25 Tue. 17:00-22:00)。



The Shape of Technology

サイエンス×アートテクノロジーのかたち

茨城大学工学部教員たち3名の研究をもとに、教員と学生による科学(サイエンス)と技術(テクノロジー)を使った体験型の作品を展示します。また今展ではこれらの研究に対して、「KENPOKU ART 茨城県北芸術祭 2016」に参加した2名のアーティストが、さまざまな切り口でコラボレーションを試みました。さらに会期中は、アーティストや研究者、文学者による、科学と芸術について一緒に考えながら楽しむワークショップも行います。今展では科学と芸術を通して、テクノロジーの可能性を探っていきます。

茨城県北芸術祭フオーアアップ事業 体験型作品

梅津信幸 「文字モザイク」「ひたち時空マップ」



コンピュータ科学の研究者。茨城大学工学部准教授(理学博士)。メディアデータ(画像・音声)を効率的に扱うアルゴリズムについて研究している。今展では文字を「写真」として構成するグラフィック作品と、地図に触れるとその場所の時間変化が見えるプロジェクションを展示する。

矢内浩文 「三次元空間に分配された二次元コード」

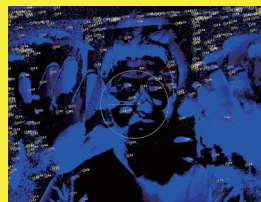


茨城大学工学部准教授(工学博士)。人の知能、感性、錯覚に関する情報科学的な分析と応用に取り組んでいる。今展では空間にちりばめられた球体で構成した巨大なQRコードを作成し、さらにインターネット空間に作品を接続する。(お手持ちのスマホ等で作品を体験できます。)

住谷自主CGゼミ

住谷秀保助教の元で、自主的に映像制作を学んでいる茨城大学工学部学部生によるゼミ。科学館9Fの「サイエンスショー」の幕間に映像作品を上映する。(作品指導：住谷秀保)

住谷秀保 「Nature in Afterimage」「FLOWS」ほか



茨城大学工学部助教。自動計測制御、人間工学、知覚情報処理、感覚代行・拡張技術応用ヒューマンインタフェース開発を研究。今展では人間が「リラックスし、かつ覚醒した状態」を促す音響システムや、鑑賞者の動きをリアルタイム計測処理し、自身の生と本質をみる映像システムを立ち上げる。

村上史明 「ダンボールで日立のまちをつくってみよう」



アーティスト。筑波大学芸術学系助教。テクノロジーと芸術の関係性をテーマに作品制作を行う。今展では自身の研究室の学生とともに、日立の未来のまちを考えるワークショップと展示を行うほか、今展の茨城大学工学部教員たちの作品にもコラボレーションしている。

監修 | 松本美枝子 写真家。今展ではアートディレクターとして、主に茨城大学教員による作品とワークショップを監修。 設計・施工 | 寺門陽平／有限会社 ART WORKS

イベント&ワークショップ

ダンボールで日立のまちをつくってみよう



ダンボールを切ったり色を塗ったりして未来の風景をつくろう！小さな電車も走るよ。

日時：11/17④・12/23⑧
10:00-17:00
場所：1F アトリウム
講師：村上史明+研究室
参加料：無料(出入り自由、申込不要)

スクラッチで はじめてのプログラミング



キャラクターを動かして、アニメとゲームを作ります。

日時：12/8④・12/9⑧ 10:30-12:30
場所：科学館8F アトリエ
講師：梅津信幸 参加料：500円
対象：小学5,6年生 定員：各15人
申込B：11/3④10:00より電話受付

ブックカフェ 『2001年宇宙の旅』を読む



SF小説『2001年宇宙の旅』を通して、「科学とは何か?」を一緒に考え、語ります。映画を観た方、他のSF作品が好きな方の参加も歓迎です。

日時：11/25⑧ 15:00-17:00
場所：1F カフェ・ランチスペース
講師：西野由希子
(茨城大学人文社会科学部教授)
参加料：要ドリンク注文
定員：20名
申込A：11/5⑧より電話受付
持ち物：お持ちでしたら『2001年宇宙の旅』(アーサー・C・クラーク)を持参ください。

光の実験室



LEDライトを使って、光の実験と工作を行います。

日時：12/23⑧・12/24⑧
10:30-12:30
場所：科学館8F アトリエ
参加料：500円
対象：小学生以上(保護者同伴可)
定員：各10人
申込B：11/23⑧10:00より電話受付

うごく！ お絵かき体験



体験型映像「紙アプリ」(リコージャパン(株))と茨城大学工学部・住谷自主CGゼミがコラボレーション！「未来の日立のまち」で、あなたが思い描くものを自由に動かしてみよう！

日時：12/1④-1/6⑧
10:00-18:00
(休館日は会期と同じ)
場所：科学館9F ◆
参加料：無料(出入り自由、申込不要)

お正月 サイエンスショーまつり

1日3回普段と違うサイエンスショーを実施します。

日時：1/5④・1/6⑧
10:30/12:00/15:00
場所：科学館9F ◆

期間中の土日祝日には、天球劇場での上映や、工作コーナー・実験体験コーナー等も開催されます。詳しくは、日立シビックセンターのHPをご覧ください。
www.civic.jp

1本のワイヤーで作る 錯覚アート



1本のワイヤーで、錯覚の原理が体験できる動物のかたちを作ります。コツがつかめればフォトスタンドにすることもできます。

日時：12/1④・12/16⑧
10:30-12:00
場所：科学館9F 天球劇場入口 ◆
講師：矢内浩文
参加料：無料
定員：20名
申込A：11/5⑧より電話受付

自分の動きに合わせて映像が変わる「インタラクティブアート」が科学館に集合！科学技術(サイエンス)と芸術(アート)が混ざった不思議な空間を楽しもう！



※過去の様子

展示協力：茨城県立産業技術短期大学校

◆科学館入館料 大人520円 小中学生320円 幼児無料

申込 A _日立市市長公室地域創生推進課
050-5528-5023 受付時間 平日 8:30-17:15(土日祝日を除く)
B _日立シビックセンター科学館
0294-24-7731 受付時間 10:00-18:00(休館日を除く)

